

あべこべの系譜

— ノンセンスを楽しむ第一歩 —

梅花女子大学 三宅 興子

I はじめに・・・幼ない子どもが言葉を覚えはじめたころ、まわりにいる大人が、「これ何？」と指さし、うまくいえると両者ともにうれしいという時期がある。この時期からかなりたつと、よく知っているものを、別の名前でいって、ニカッと笑うようになる。明らかに、間違ふことを楽しんでいるのである。次の段階になると、常識というものを身につけはじめるので、絶対にそうはならない「ブタが飛ぶ」とか、「イスが歩く」などのノンセンスを楽しめるようになってくる。子どもの本の世界でのノンセンスの第一歩として、「さかさま」や「あべこべ」の系譜を追ってみよう。

II チャップブック『さかさま』・・・19世紀の初版の出版と考えられるケンドリューの『さかさまの世界』*The World Turned Upside Down; or, No News, and Strange News.* がもっともわかりやすい例を提供してくれる。(図参照)

- ・口絵…タイトルをそのままの図にA B A Bの韻をふんだ四行詩が入っている。
- ・タイトルページ…ガチョウに乗った仕立て屋のさし絵が入っている。
- ・4p. …A B Cの大文字・小文字(1ページの処理としてよく使われた。)
- ・5-30p. …いずれのページにもまん中に図版が入り、上に四行、下に上と関連のある問答などの四行のノンセンス詩が入っている。例をあげてみる。

例1 p.5

To see a butcher kill a hog,
is no news;
But to see a hare run after a dog,
is strange indeed!

This hare hunts the dog,
Tho' all of you know,
Most dogs hunt the hare —
But here it's not so.

例2 p.7

To see a cat catching a mouse,
is no news;

But to see a rat building a house,
is strange indeed!

Some rats take delight to gnaw
Houses down —
I want to build a good
House of my own.

例3 p.20

To see a good boy read his book,
is no news;
But to see a goose roasting a cook,
is strange indeed!

I'll roast ye, and baste ye,
But who will may taste ye.

例4 p.24

To see a boy swim in a brook,
is no news;
But to see a fish catch a man with a hook,
is strange indeed!

Spare me, good Mr. Fish,
I didn't molest you.
I'll spare you no longer
Than till I dress you.

(例1)は、常識の逆だけだが、(例2)になると、ただ常識のひっくり返りに、小さいネズミが大きい家を建てるという構図もプラスされている。(例3)になると、ガチョウがコックをむし焼きにするわけでグロテスクなうえに、下の詩で「誰がおまえを食べるのか」ともう一味加えている。(例4)では、絵にもサービスが入っており、逆転にいろいろな要素がついてくることがわかる。

これらの詩の精神は、Nursery Rhymesのなかにいろいろみられ、子どもに好まれるものであることがわかる。もっとも著名なあべこべ唄は 'The Man in the Moon' であろう。

The man in the moon
Came down too soon,
And asked his way to Norwich;
He burnt his mouth
With supping cold plum porridge.

冷えたお粥で口をやけどするというのである。チョコ
フスキーは、その著『2歳から5歳まで』（理論社
1970）で、さかさ頃やひっくり返し遊びに触れ、後に
ある正しさへの「自己点検、自己試験」を試みている
のだと考えた（p.286）。そしてなぜ子どもたちが楽し
むのかについては、「自己評価を高める」（p.287）効
果があるとしている。

Ⅲ 『鏡の国のアリス』の場合・・・こうしたノン
センスに考えをみせたのは、エドワード・リアとルイ
ス・キャロルであった。リアは、ふるいに乗って海に
のりだし、またもとに戻ってくるというとばけた詩や、
イスが歩きだす詩など数多くのおもしろい詩を発表し
ている。また、キャロルもその名手であった。ここで
は『鏡の国のアリス』（1872）の第6章を例にとって、
その奇妙なおもしろさをみてみよう。

ハンプティ・ダンプティとアリスの会話は、話をし
ているものの全く対話になっていない。話の論理は、
「1年は何日ありますか」「1年に誕生日は何日あり

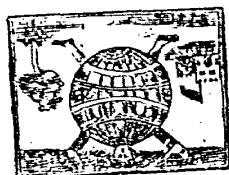
ますか」ときき、誕生日のプレゼントは、1年に1回
しかもらえないから、 $365-1=364$ で非誕生日プレゼ
ントをもらえばいいという提案につながる。笑いだけ
残して姿を消すネコやまがいウミガメなど、あべこべ、
逆転などのノンセンスのよく使われる技法をちりばめ
ている。

Ⅳ F. アンステイ『あべこべ物語』1882年
・・・ヴィクトリア朝のベストセラーで、現在も続い
ている親と子どもが入れ替わる物語の先駆的作品であ
る。魔法の石の力で、息子のいつている寄宿学校にい
くはめに陥った父親の体験が冗舌に語られ、入れ替わ
ったことから生じる誤解やドタバタ、年齢や経験の違
いによるズレなど、当時としては、おもしろおかしい
学校物語であった。C・S・ルイスが、唯一本物の学
校物語であると述懐しているのは、同時代の学校物語
の教訓癖のひどさを語っているとともに、あべこべの
異化作用を評価していると考えられる。

V 「おとぼけアンナ」シリーズと、『ビルの新し
いワンピース』・・・「おとぼけアンナ」のシリーズ
（1～4、1987-91）は、ドイツのマンフレート・マイ
の作品で、小学2年生のアンナはパパとママでくらし
ている。第1巻は、『パパ、とりかえっこしない？』
で、仕事が大変というパパに、アンナは「学校だっ
ておしごととおなじくらいたいへんなのよ。うそと思
うのなら、いちど、じぶんでいってみればいいんだわ」
（p.10 ひらのきょうこ訳）と挑発し、役割交替する
物語である。第2巻は、『ママはお休み』で、時間
の使い方が下手だといわれたママは休日を取り、パパ
が奮闘する。未訳であるがアン・ファインのBill's New
Frock（1989）では、'When Bill Simpson woke up on
Monday morning, he found he was a girl.' といきな
巻頭で、女の子に変身する物語である。日常を異化す
る、あべこべの系譜は陸続と辿ることができる。

(12 独)

FRONTISPIECE.



Here you may see what's very rare,
The world turn'd upside down;
A tree and castle in the air,
A man walk on his crown.

(タイトルページ)

THE
WORLD
TURNED UPSIDE DOWN;
OR,
No News, and Strange News.



TAILOR RIDING A GOOSE.

Printed and Sold by J. KNEPPER, Colchester.

(13/1)

8

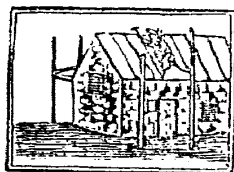
TO see a butcher kill a hog,
is no news;
But to see a hare run after a dog,
is strange indeed!



This hare hunts the dog,
Tho' all of you know,
Most dogs hunt the hare—
But here it's not so.

(13/2)

To see a cat catching a mouse,
is no news;
But to see a rat building a house,
is strange indeed!



Some rats take delight to gnaw
Houses down—
I want to build a good
House of my own.

(13/3)

20

To see a good boy read his book,
is no news;
But to see a goose roasting a cook,
is strange indeed!

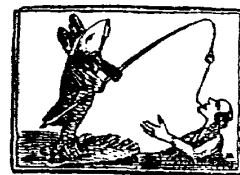


I'll roast ye, and baste ye,
But who will may taste ye.

(13/4)

24

To see a boy swim in a brook,
is no news;
But to see a fish catch a man with a
hook,
is strange indeed!



Spare me, good Mr. Fish,
I didn't molest you,
I'll spare you no longer
Than till I dress you.